

疾病预防控制局

2019年05月度全国法定伝染病情報

国家卫生健康委 www.nhc.gov.cn 2019-06-21

来源: 疾病预防控制局

2019年05月(2019年05月01日00:00 ~ 05月31日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は937,741例(宮本注:前月は916,462例;21,279人増)、死亡者数は2,022例(前月は2,001例;21人増)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、発症・死亡ともにゼロであった。

B(乙)類伝染病はSARS、ポリオ、ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ、ジフテリアとH7N9型鳥インフルエンザで発症・死亡なし以外、残21種については、発症326,524例(前月は329,246例;2,772人減に転)、死亡2,014例(前月は1,985例;29人増)が報告されている。報告されている発病データの病種ワースト5は、ウィルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病と猩紅熱(前月と同種同順)で、B類伝染病報告総数の92%を占めていた。

同期、C(丙)類伝染病では、フィラリア症では発症・死亡ともにゼロだったが、その他10種の伝染病では、発症数は611,217例(前月は587,216例で24,001人増)、死亡は8例(前月は16例で8人減)であった。発症データの3位までの病種は、インフルエンザ、手足口病、その他感染性下痢と(前月と同病種同順位)であり、C(丙)類伝染病報告総数の92%を占めていた。

(H7N9鳥インフルエンザ患者と死者について:

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりましたが、年度報告では発症589人、死亡259人と、それぞれに57人、10人の発症者・死亡者が消し去られていきました。(こういう場合、WHOへの通報はどうするのでしょうか。恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。。)
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ていたが、第6の波と呼べるものまだ表れていません。2月以後発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。
3. 4月5日に内モンゴル自治区(内蒙古自治区)アルシャー盟エジン旗達来呼布(ダライコボ)鎮で82歳男性感染者が見つかっている(13カ月ぶり!)ので、その数字が反映されています(誤診ではなかったようです!)。2018年2月以後の患者発生が報じられていないため、4月の死者も同じ人だと推量可能です。
4. 2018年に入つてからは、この1月月報上の1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月は1人発症1人死亡と発表。2月11日に中山市での患者発生が報じられている)しているのですが3月の死者1人というのがこの患者の死亡を表しているとすれば、1~5月までの累計で2名が発症、2名が死亡のままであるが、5月に、『広東省本年初の患者が回復、まもなく退院(<https://wp.me/p66Elr-2RJ>)』という報道があつたため、これが中山市の患者であることは明白、つまり、2名の本年死者中の「1名」は、確実に昨2017年の患者であることがわかりました。
5. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあり、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれません。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市場は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し「楽観し過ぎ」かもしれません。
6. 現時点未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬~春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
7. 浙江省、江蘇省、湖南省、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ族自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省CDCは単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
8. 1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1625号患者(06月15日発表)まで追いかけることができました(7月に中側からFAOに発表された12人と、12月19日にFAOが発表した累計患者数“1621人”との差20人、それに2月28日のFAO“発表1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができます)。WHOへの報告主体である衛計委とFAOへの報告主体農業部の間でも同国内なのに整合性もなく、また、2017年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然57人減じている(死者数も10人減!)事

実がありますが、衛計委が WHO に「この患者とこの患者は誤報でした」という通知もしていない？？？
FluTrackersによると、『必ずしもすべての数字が WHO に報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackers は、NHFPC や省・市の HFPC や HFPB、それに香港 CHP の正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局から FAO への通報、これに基づく FAO の発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っている B 型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれません。。患者が少なかったことから情報提供も僅か、、それでも弊所から FluTrackers への情報提供数は、**2017 年 1 月以来 436 本**になりました(as of Jun. 26)。

9. 2014 年 1 月に浙江省 HFPC が発表した『確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『[2014-01-27 浙江省の H7N9 鳥フル患者死者数発表に関して https://wp.me/p66EIr-2lP](https://wp.me/p66EIr-2lP)』をご参照ください。
10. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、増えています。
2017 年 3 月には湖南省永州市、5 月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6 月に入ってからは陝西省榆林市、内蒙古フフホト市、内蒙古ボグト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、8 月には安徽省滁州市鳥間、と 9 件が発生しています。
11. 2018 年に入り、3 月 5 日には陝西省銅川市王益区で発生、4 月 5 日には山西省臨汾市、18 日には寧夏回族自治区同心県での発生、5 月 9 日には寧夏回族自治区固原市でのアウトブレイクが農業農村部から発表されましたが、6 月 1 日には、遼寧省瀋陽市で発生(H7N9 に関する PPT に追記しています)。これで 2017 年は 9 件、2018 年は 5 件、合計 14 件目の集団発生となります。一人もヒト感染者が見つかっていない寧夏回族自治区における鳥間の集団発生が 2 件続けて出ていることが気がかりです。
12. 2019 年 3 月に、遼寧省錦州市で久しぶりの集団発生が報じられ、これで 2017 年から通算 15 件目の集団発生が出た形になりますが、どうも間隔があきすぎており、H7N9 については、本当に消えているのか、消し去られているのか、、、良く判らなくなってきた。
13. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症に発表されたようです)が、今後の動向に注目必要ですね。
14. 但し、『[2018-04-03 対家禽 H7N9 インフル強制ワクチンの接種実施 河南省](#)』で書かれているように、H7N9 ワクチンを活禽に強制接種されれば、(鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして)鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれません。これもまた要ウォッチ事項だねと FluTrackers と話をしています。

(⇒See [20190621 中国衛生部発表の全国法定伝染病発症死亡統計](#))

<http://www.nhc.gov.cn/jkj/s3578/201906/0be5c41532064d06873bbb5d4c112449.shtml>

: :

National statutory reportable infectious disease epidemic situation in May 2019
China National Health Commission www.nhc.gov.cn 2019-06-21 Source: National CDC

In May 2019 (0:00 on May 1, 2019 to 24:00 on May 31), the country (excluding Hong Kong, Macao Special Administrative Region and Taiwan, the same hereinafter) reported a total of 937,741 infectious diseases and 2,022 deaths.

Among them, there is no report of morbidity and death of Class A infectious diseases.

Though there was no report of incidence and morbidity in SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome), diphtheria, poliomyelitis and human infection with highly pathogenic avian influenza, the remaining 21 kinds of Class B infectious diseases reported a total of 326,524 cases and 2,022 deaths. The top five reported cases were viral hepatitis, tuberculosis, syphilis, gonorrhea and Scarlet fever, accounting for 92% of the total number of reported cases of Class B infectious diseases.

In the same period, there was no incidence and morbidity report of filariasis in Class C infectious diseases, and 611,217 cases and 8 deaths were reported in the remaining 10 kinds of Class C infectious diseases.

The top three reported cases were influenza, Hand, foot and mouth disease and other infectious diarrhea, accounting for 93% of the total number of reported cases of Class C infectious diseases.

:::::::::::::::::::: 以下は中国語原文 ::::::::::::::::::::

2019年05月全国法定传染病疫情概况

国家卫生健康委 www.nhc.gov.cn 2019-06-21 来源: 疾病预防控制局

2019年5月(2019年5月1日0时至5月31日24时),全国(不含香港、澳门特别行政区和台湾地区,下同)共报告法定传染病937741例,死亡2022人。

其中,甲类传染病无发病、死亡报告。乙类传染病中传染性非典型肺炎、脊髓灰质炎、人感染高致病性禽流感、白喉和人感染H7N9禽流感无发病、死亡报告,其余21种乙类传染病共报告发病326524例,死亡2014人。报告发病数居前5位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、淋病以及猩红热,占乙类传染病报告病例总数的92%。

同期,丙类传染病中丝虫病无发病、死亡报告,其余10种丙类传染病共报告发病611217例,死亡8人。报告发病数居前3位的病种依次为手足口病、流行性感冒和其它感染性腹泻病,占丙类传染病报告病例总数的92%。

附件:2019年05月全国法定传染病发病、死亡统计表

20190621B 中国法定传染病月报(5月)